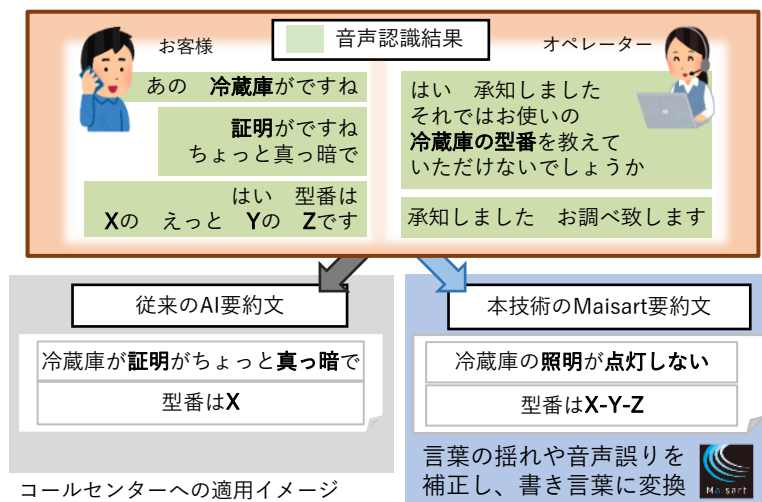


## 独自AI技術ブランド「Maisart®\*」により、作業効率化などSmartなインタラクション支援技術を開発

\*Mitsubishi Electric's AI creates the State-of-the-ART in technology の略

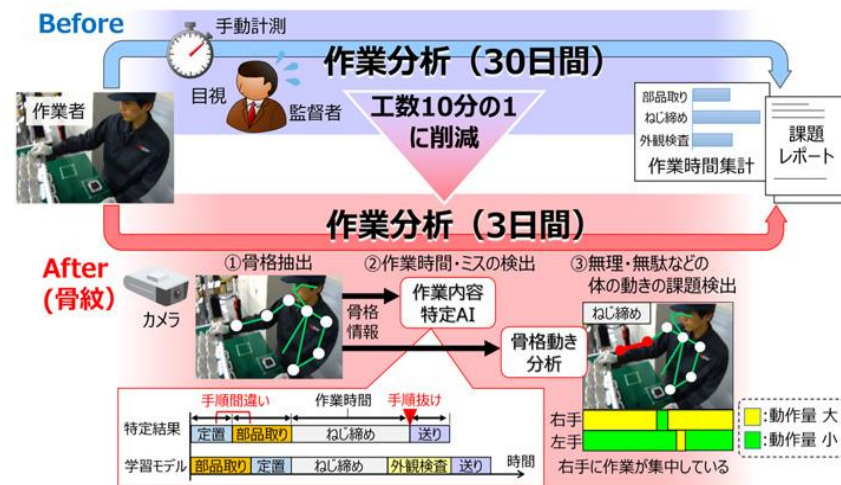


### AIで話し言葉から要約文を自動生成する 知識処理に基づく対話要約技術

電話などによるオペレーターのお客様対応業務を効率化するために、お客様との通話内容を要約した報告書を自動で作成したいというニーズが高まっています※1。当社は、AI技術「Maisart®（マイサート）」により、学習した過去の通話履歴や報告書を使い、電話対応による話し言葉の表現や類義表現を自動補正して、書き言葉で要約文を自動生成する「知識処理に基づく対話要約技術」を開発しました。従来の報告書作成と比較して、オペレーターによる修正の必要性が少ない要約文を自動生成でき、報告書作成に要する時間を削減します※2。

※1 出典 コールセンター白書2019（41.8%のコールセンターが課題と回答）

※2 コールセンターで録音されたデータおよび報告書による評価



### AIでカメラ映像から特定の動作を自動検出する 骨紋

カメラ映像から人の骨格情報を抽出・分析し、特定の動作を自動検出する作業分析ソリューション「骨紋®（こつもん）」を開発。生産現場の作業者の動きをカメラで撮影するだけで作業内容を認識・特定し、作業時間や作業ミス・無駄を自動検出することで作業分析を効率化でき、生産現場の生産性向上に貢献します。

特徴1. 映像から作業時間や作業ミスを自動検出し作業分析工数を10分の1に削減

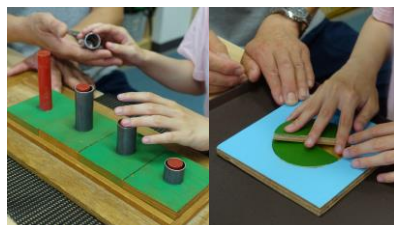
特徴2. 作業者の動きの課題が見える化、異なる監督者でも標準的な作業改善が可能

より多くの人がいやすく、生活しやすい環境を目指した製品・サービスを作り出しています



## 視覚障がい者も健常者も直感的に操作できるリモコン 触りたくなるインターフェース

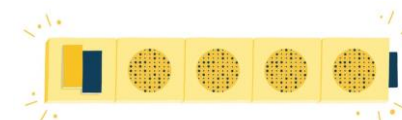
- 空調機器を例としたリモコン
- 操作する項目ごとに操作部の形状や動きを変え、設定状態をわかりやすくしており、リモコンなどの機器操作に不慣れな人でも直感的に操作可能
- 盲学校と共同で試作し、先天性視覚障がい者が学ぶ、「高さ」「形状」「一致」などの概念の違いを操作部に反映



先天性視覚障がい者の概念学習の様子

## 自分で作れる楽しさにより、好奇心を育む 触りたくなるプログラミングブロック

- 様々な機能を持つブロックで構成され、それらをつなげることでプログラミング的思考を自然と学べる教育ツール
- 触りたくなるインターフェースで得られた知見を活かし、各ブロックの操作部に利用
- 触ってわかり、また、組み換え自由なため、自分で作る楽しさや、好奇心を醸成



ブロックをつなげることで、様々な動作が可能



試作機を子供たちが楽しく触っている様子